

ごあいさつ
 このたびは、ヤマハパワードミキサーEMX2をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。EMX2のさまざまな機能を十分に活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管いただけますようお願いいたします。
 *裏面の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

- 主な特長**
- あらゆるパフォーマンスをサポートする出力500Wのパワーアンプ。
 - さまざまな入力に対応する10chミキサー(4モノラルマイク/ライン+3ステレオライン)。
 - 生演奏やボーカルに最適なSPXグレイドの高品質なリバーブ。
 - 不快なハウリングを自動的に抑えるフィードバックサプレッサー。
 - チャンネルごとに音作りが可能な3バンドイコライザー。

- 付属品(お確かめください)**
- 電源コード(2芯+絶縁保護カバー付きアース線)(2m)
 - 警告**
必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。
 - Technical Specifications(英語)：一般仕様、入出力仕様、ブロック図、寸法図、端子とプラグ一覧が記載されています。
 - 取扱説明書(本書)：保証書は裏面にあります。

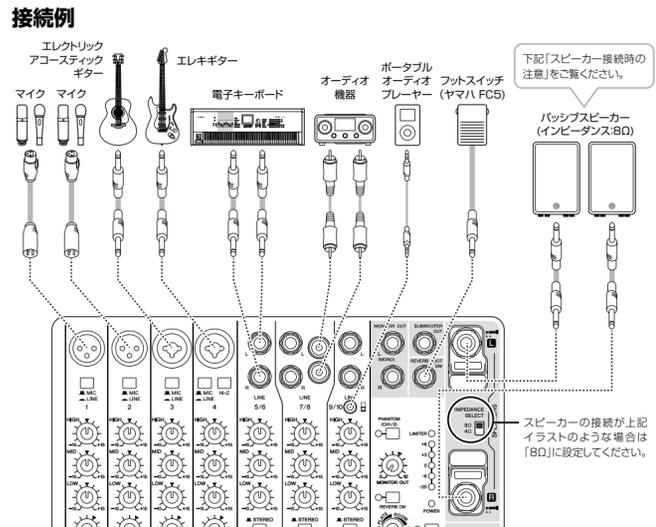
クイックスタートガイド

事前確認

- 1 [ON] (電源)スイッチを含む、すべてのスイッチが押されていないこと(■)を確認します。本体は、平置き(操作パネルが上)でご使用ください。

スピーカー、マイク、楽器、オーディオ機器を接続する

- 2 下記の接続例を参考にしてください。



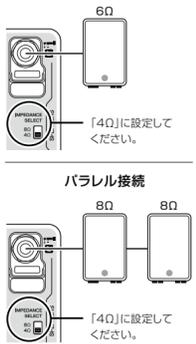
■ スピーカー接続時の注意

- 接続方法や接続スピーカーの数に応じて、[IMPEDANCE SELECT]スイッチの設定が必要です。スピーカーのインピーダンスが、設定したインピーダンスより下回らないようにしてください。スイッチの設定を誤ると本体やスピーカーが故障するおそれがあります。

スピーカーのインピーダンス*	[IMPEDANCE SELECT] スイッチ
4Ω～8Ω未満	「4Ω」に設定
8Ω以上	「8Ω」に設定
接続するスピーカーのインピーダンスが不明な場合	「4Ω」に設定

*パラレル接続の場合は、合成インピーダンス

- スピーカーケーブルは奥までしっかり差し込んでください。故障の原因になることがあります。
- スピーカーケーブルはコネクターのハンドル部(ハウジング)が絶縁されたものをお使いください。

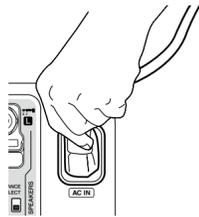


スピーカーから音を出す

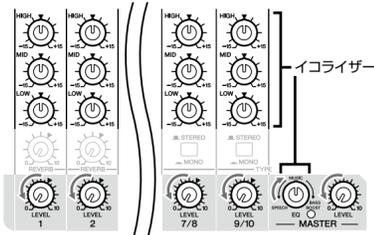
- 3 付属の電源コードを接続します。先に本体の[AC IN]に接続してから、コンセントに接続します。

NOTE 電源コードを外すときは、逆の手順で行なってください。

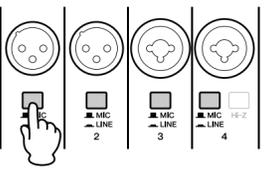
警告
EMX2は、アース接続を行なうことを前提として設計されています。感電と機器の損傷を防ぐため、付属の電源コードを使ってアース接続を確実に行ってください。なお、接続方法がわからないときは、巻末のヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。



- 4 [MASTER LEVEL] (赤のツマミ)と[LEVEL] (白のツマミ)を「0」に下げます。イコライザー(緑のツマミ)をセンター位置「▼」や「MUSIC」に合わせます。



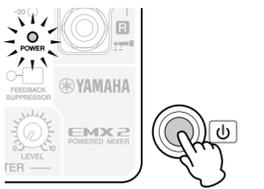
- 5 マイクを接続したチャンネルの[■ MIC / ▲ LINE]スイッチは「■ MIC」に、楽器やオーディオ機器などを接続したチャンネルは「▲ LINE」にします。



NOTE コンデンサーマイクを使用する場合は[PHANTOM (CH1/2)]スイッチをオンにします。

- 6 楽器やオーディオ機器などの電源をオンしてから、本体の電源をオンにします。[POWER] LEDが点灯します。

警告
電源をオフにするときは、スピーカーから大きなノイズが出ないようにするため、本体 → 楽器やオーディオ機器の順で電源をオフにしてください。



- 7 マイク、楽器、オーディオ機器を接続したチャンネルの[LEVEL]を「▼」の位置に合わせます。



- 8 マイク、楽器、オーディオ機器で音を出しながら、[MASTER LEVEL]を適切な音量になるまでゆっくり右に回します。



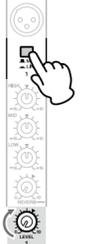
- 9 必要に応じて、マイク、楽器、オーディオ機器の音量のバランスを、各チャンネルの[LEVEL]で合わせます。



音量が大きすぎたり、小さすぎたりするときは？

音量が大きすぎるとき
 いったん[LEVEL]を「0」に下げます。[■ MIC / ▲ LINE]スイッチを「▲ LINE」に切り替えてから、徐々に[LEVEL]を上げて音量を調節します。

音量が小さすぎるとき
 いったん[LEVEL]を「0」に下げます。[■ MIC / ▲ LINE]スイッチを「■ MIC」に切り替えてから、徐々に[LEVEL]を上げて音量を調節します。



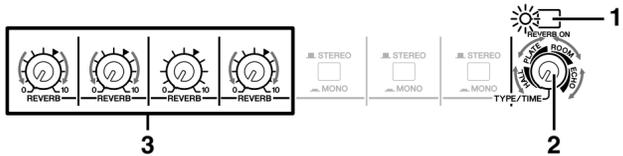
リバーブをかける

EMX2はヤマハマルチエフェクターSPXシリーズと同クラスのリバーブ(エコー)を内蔵しています。以下の手順でリバーブをかけることによって、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような音の広がりや響きが得られます。

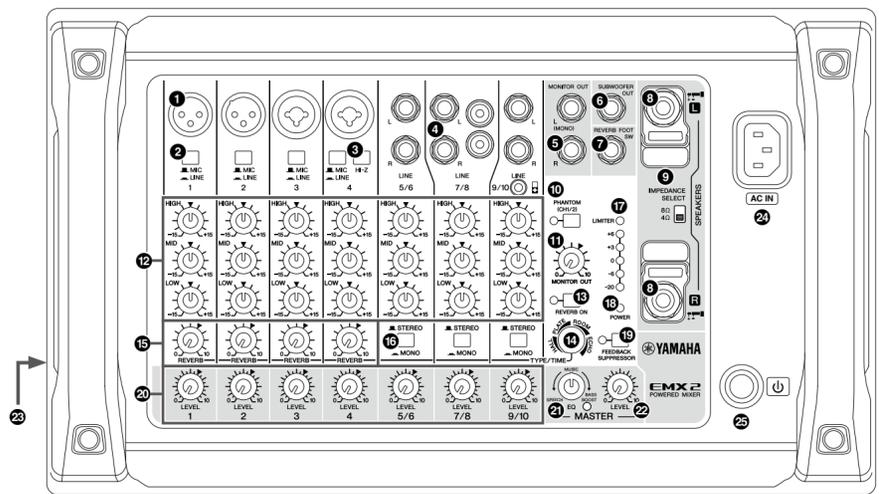
- 1 [REVERB]ボタンを押してオンにします。オンのときにLEDが点灯します。
- 2 リバーブ [TYPE/TIME]ツマミで、リバーブの種類と長さを設定します。ツマミを右に回すほど、選んでいるリバーブの長さが長くなります。



- 3 [REVERB]ツマミで各チャンネルのリバーブの量を調節します。必要に応じて手順2と3を繰り返し、最適なかかり具合を調節します。



各部の名称と機能



- 1 **マイク/ライン入力端子(チャンネル1~4)**
マイク、ギター、電子楽器、オーディオ機器などを接続します。チャンネル3と4はXLR、フォンの両プラグに対応したコンボ端子です。
- 2 **[■ MIC / ▲ LINE]スイッチ(チャンネル1~4)**
マイクなど入力信号のレベルが低い機器を接続したチャンネルは「■ MIC」にします。電子楽器やオーディオ機器など入力信号のレベルが高い機器を接続したチャンネルは「▲ LINE」にします。
- 3 **[Hi-Z]スイッチ(チャンネル4)**
電池を使わないエレクトリックアコースティックギターやエレクトリックベースなどの、パッシブピックアップの楽器を接続するときにスイッチをオンにすると、DI(ダイレクトボックス)なしで直接本体に接続できます。この機能はフォンでの入力時のみ有効です。
- 4 **[LINE]入力端子(チャンネル5/6、7/8、9/10)**
電子楽器、エレクトリックアコースティックギター、CDプレーヤー、ポータブルオーディオプレーヤーなどラインレベルの機器を接続します。フォン、RCAピン、ステレオミニのプラグに対応しています。
- 5 **[REVERB FOOT SW]端子**
フットスイッチ(ヤマハFC5などのアンラッチタイプ)を接続します。リバーブのオン/オフを足元で切り替えでき、ワンマンパフォーマンスのときに便利です。
- 6 **[SPEAKERS L/R]端子**
市販のスピーカーケーブルを使って、スピーカーと接続します。TSフォンプラグに対応しています。
- 7 **[IMPEDANCE SELECT]スイッチ**
接続するスピーカーのインピーダンスに合わせて切り替えます。不明な場合は「4Ω」に設定してください。アンプの最大出力が変更され、[LIMITER] LEDの点灯条件が変更されます。
NOTE
• スイッチを切り替えるときは、電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
• スイッチの設定を誤ると本体やスピーカーが故障するおそれがあります。
- 8 **[PHANTOM (CH1/2)]スイッチ/LED**
スイッチをオンにすると、LEDが点灯してチャンネル1と2にファンタム電源を供給します。コンデンサーマイクやDI(ダイレクトボックス)に電源供給するときは、このスイッチをオンにしてください。
NOTE
本体および外部機器の故障やノイズを防ぐために、以下の点にご注意ください。
• ファンタム電源が不要なときや、チャンネル1と2にファンタム電源非対応の機器を接続するときは、スイッチをオフにする。
• スイッチをオンにしたまま、チャンネル1と2でケーブルの抜き差しをしない。
• チャンネル1と2の[LEVEL]ツマミを最小にしてから、スイッチをオン/オフする。
- 9 **[MONITOR OUT]ツマミ**
5の[MONITOR OUT]端子から出力される信号レベルを調節します。[MASTER LEVEL]ツマミの影響は受けません。
- 10 **イコライザーツマミ[HIGH、MID、LOW]**
高域[HIGH]、中域[MID]、低域[LOW]の音質を変化させます。ツマミを右に回すとその周波数帯域が増幅(ブースト)され、左に回すと減衰(カット)されます。ツマミを「▼」の位置にするとフラットな特性となります。
- 11 **[REVERB]ボタン/LED**
ボタンをオンにするとLEDが点灯して、リバーブ(エコー)をかけることができます。電源を入れたときは、オフの状態になっています(他のスイッチとは異なり、このボタンはロックしません)。

- 12 **リバーブ[TYPE/TIME]ツマミ**
リバーブの種類と長さを設定します。ツマミを右に回すほど、選んでいるリバーブの長さが長くなります。
「HALL」: ホールなどの広い空間の響きをシミュレートしたリバーブです。
「PLATE」: 鉄板の響きをシミュレートしたリバーブです。硬めで明るい残響感が得られます。
「ROOM」: 小さな空間(部屋)の響きをシミュレートしたリバーブです。
「ECHO」: ボーカル用途に最適なエコーです。

- 13 **[REVERB]ツマミ(チャンネル1~4)**
9の[REVERB]ボタンがオンの状態で、各チャンネルのリバーブの量を調節します。
- 14 **[■ STEREO / ▲ MONO]スイッチ(チャンネル5/6、7/8、9/10)**
「■ STEREO」にすると、L(左)とR(右)の信号がそれぞれ左右のスピーカーに割り振られて出ます。「▲ MONO」にすると、LとRの信号がミックスされて左右どちらのスピーカーからも同じ音が出ます。ギターやモノラル出力のキーボードなど音源がステレオでない場合に「▲ MONO」にすれば、ステレオ入力端子を複数のモノラル端子として活用できるので便利です。

- 15 **レベルメーター**
[SPEAKERS L/R]端子から出力される信号のレベルを表示します。
NOTE
[LIMITER] LEDが長い間点灯し続けるほど大音量で使いになると、内蔵の(パワー)アンプに過大な負担がかかり、故障の原因になります。信号の最大入力時に一瞬点灯する程度以下になるように、[MASTER LEVEL]ツマミで音量を下げてください。

- 16 **[POWER] LED**
電源スイッチを押してオンになると点灯します。
- 17 **[FEEDBACK SUPPRESSOR] (フィードバックサプレッサー)スイッチ/LED**
スイッチをオンにするとLEDが点灯して、ハウリング(フィードバック)を自動的に抑えることができます。(7バンドのノッチフィルターが動作します。このスイッチまたは電源スイッチをオフにすると、ノッチフィルターはリセットされます。)
- 18 **[LEVEL]ツマミ**
各チャンネルの音量を調節します。ノイズを減らすために、使わないチャンネルのツマミは最小「0」にしておいてください。

- 19 **[MASTER EQ]ツマミ**
全体の音の周波数バランスを調節します。センター位置「MUSIC」を基本として左に回すと低音域が抑えられスピーチに適した特性になります。右に回すと低音域と高音域が強調され再生音源などに適した特性になります。さらに右に回していくと低音ブースト機能がオンになって[BASS BOOST] LEDが点灯し、より迫力のある低音が得られます。

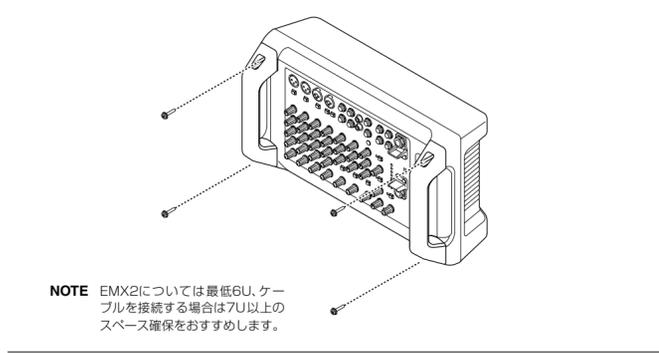
- 20 **[MASTER LEVEL]ツマミ**
[SPEAKERS L/R]と[SUBWOOFER OUT]から出力される音量を調節します。各チャンネルの音量バランスを変化させることなく、全体の音量だけを調節します。

- 21 **通風孔**
両側面に通風孔があり、排気側には冷却用ファンが装備されています。使用時は両側ともふさがないようにしてください。

- 22 **[AC IN]端子**
付属の電源コードを接続します。
- 23 **[ON] (電源)スイッチ**
電源をオン(▲) / オフ(■)します。
NOTE
電源のオン/オフを連続して早く切り替えると誤動作の原因になることがあります。電源をオフにしてから再度オンにする場合は、10秒以上の間隔を空けてください。

ラックマウント

- 本体のハンドルに取り付けられているネジ(計4個)を、ドライバーでゆるめて取り外します。



NOTE EMX2については最低6U、ケーブルを接続する場合は7U以上のスペース確保をおすすめします。

■ **ラックマウント時の注意**
この機器が動作保証する室温は0～40℃です。この機器を他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。この機器に熱がこもらないように、必ず右記の条件でラックにマウントしてください。

マイクスタンドへの固定

別売のヤマハ マイクスタンドアダプターBMS-10Aを使って、右のイラストのように、本体をマイクスタンドに固定できます。取り付けの手順は、BMS-10Aの取扱説明書をご覧ください。



困ったときは？

販売店や修理ご相談センターにお問い合わせになる前に、下記をご確認ください。症状が改善しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

- 電源が入らない**
- 電源コードを奥までしっかり差し込みましたか？
- 突然、電源が切れた**
- 本体の通風孔をふさいでいませんか？
放熱が不十分で本体に熱がこもると、過熱保護のため電源が切れます。冷却用の通風孔を確保してから、再度電源を入れてください。

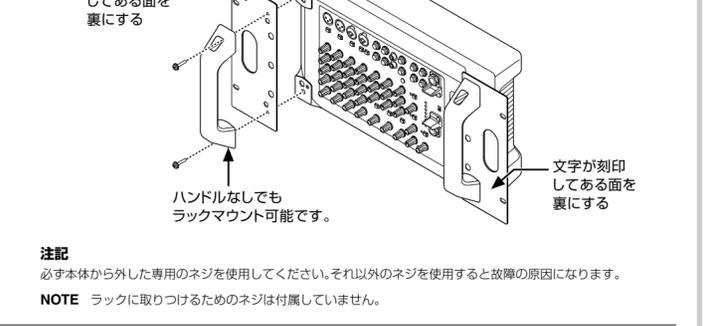
- 音が出ない**
- 本体の[SPEAKERS L/R]端子とスピーカーの入力端子をスピーカーケーブルで接続しましたか？
- スピーカーケーブルを奥までしっかり差し込みましたか？
- [POWER] LEDが周期的に点滅していませんか？
スピーカーケーブルがショートしている場合があります。スピーカーケーブルが正しく接続されているか、傷がついていないかを確認してから、再度電源を入れてください。

- チャンネル7/8 でフォーン端子とRCAピン端子の両方に接続していませんか？またはチャンネル9/10 でフォーン端子とステレオミニ端子の両方に接続していませんか？チャンネル7/8ではフォーン端子、9/10ではステレオミニ端子が優先されます。
- [POWER] LEDが連続して点滅していませんか？
内蔵のパワーアンプに過大な負荷がかかる、と、保護のためアンプがミュートして音が出なくなります。しばらくすると自動復帰します。

- 高音・低音のバランスが悪い**
- イコライザーを上げすぎ、または下げすぎていませんか？
イコライザーをセンター位置にしてみてください。

- 別売のラックマウントキットRK-EMX2を手順1で取り外したネジを使用して、

しっかり固定されるまで締めつけます。RK-EMX2は文字が刻印されている面を裏にしてに取り付けてください。



- パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を1U以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ラックの背面を開放して、十分な通気を確保してください。ラックのファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書をご覧ください。

一般仕様

最大出力 (1 kHz)	THD+N<10% 250 W + 250 W (4 Ω)、170 W + 170 W (8 Ω) THD+N<1% 110 W + 110 W (4 Ω)、110 W + 110 W (8 Ω)
入力チャンネル	10チャンネル (モノラル(MIC/LINE)：4、ステレオ(LINE)：3) CH4：Hi-Z入力対応
出力チャンネル	SPEAKERS (L, R)：1 MONITOR OUT (L, R)：1 SUBWOOFER OUT：1
バス	ステレオ：1、エフェクト：1
入力チャンネルイコライザー特性	HIGH：8 kHz ±15 dB MID：2.5 kHz ±15 dB LOW：100 Hz ±15 dB
レベルメーター	6ポイント(-20、-6、0、+3、+6、LIMITER)
ファンタム電源	+30 V (CH1、2)
内蔵エフェクト	SPXアルゴリズム
フットスイッチ端子	エフェクトミュート オン/オフ
DSPプロセシング	FEEDBACK SUPPRESSOR、MASTER EQ
保護機能	スピーカー保護：DC-fault アンプ保護：Over heat protection、Over current protection 電源ユニット保護：Over heat protection、Over current protection
電源電圧	AC 100-240 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	35 W (アイドル時) / 90 W (1/8出力時)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	375 mm × 147 mm × 220 mm
質量	4.2 kg
オプション (別売)品	フットスイッチ：FC5、ラックマウントキット：RK-EMX2、マイクスタンドアダプター：BMS-10A
動作環境温度	0～+40℃

その他の仕様については別紙の「Technical Specifications」をご覧ください。この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご利用いただく、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」と「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を区分して掲載しています。

警告	「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	「傷害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号

禁止を示す記号

行為を指示する記号

- この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

接続

- 接地接続は必ず、主電源プラグを主電源につく前に行なう。
- 接地接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行なう。

電源コードには、アース線が付いています。必ずアース線を接地接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

分解禁止

- この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 感電や火災、けが、または故障の原因になることがあります。ハンドル部が非金属製のもの、もしくはハンドル部に絶縁処理がされているものをお使いください。

水に注意

- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿度の多いところで使用しない。内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

聴覚障害

- イコライザーとレベルツマミをすべて最大にしない。接続した機器の状態によっては、フィードバックが起きて聴覚障害やスピーカーの損傷になることがあります。

- 大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。聴覚障害の原因になります。

- オーディオシステムの電源を入れるときは、この機器をいつも最後に入れる。電源を切るときは、この機器を最初に切る。聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

火に注意

- この機器の近くで、火気を使用しない。火災の原因になります。

異常に気づいたら

- 下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
 - 電源コード/プラグがいたんだ場合
 - 製品から異常なおいや煙が出た場合
 - 製品の内部に異物が入った場合
 - 使用中に音が出なくなった場合
 - 製品に亀裂、破損がある場合
そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

- この機器を落とすなどで破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

- 注意**

電源/電源コード

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを保持し、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

設置

- 不安定な場所に置かない。この機器が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。この機器は、平置き(操作パネルが上)でご使用ください。

- この機器の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。内部の温度上昇を防ぐため、この機器の側面には通風孔があります。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

- この機器を使用する際は、
 - 布やテールクロスをかけない。
 - じゅうたんやカーペットなどの絨には設置しない。
 - 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

この機器は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

- 燃や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。故障の原因になります。

- この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。ケーブルをいためたり、お客様やほかの方が転倒したりするおそれがあります。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。
機種名
製造番号

保証書			
持込修理			
品名	パワードミキサー		
品番	EMX2		
※シリアル番号			
保証期間	本体	お買上げの日から1年間	
※お買上げ日		年 月 日	
	□□□□□□□□		
お客様	ご住所		
	お名前	()	様
	お電話	()	
ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。			
※販売店	店名		
※販売店	所在地		
※販売店	電話	()	
株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F TEL. 03-5652-3850			

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合にも、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご購入後、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、虫害、異常電圧などによる故障及び損傷。
- お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。

※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

※ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報 は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

※その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

アフターサービス

- お問い合わせ窓口**
お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。
- **機能や取り扱いに関するお問い合わせ**
- | |
|--|
| <p>ヤマハプロオーディオインフォメーションセンター</p> <p> 0570-050-808</p> <p><small>※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。</small></p> <p>上記番号でつながらない場合は 03-5488-5447
受付 月曜日～金曜日 11:00～18:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)
FAX 03-5652-3634
オンラインサポート http://jp.yamaha.com/support/</p> |
|--|

- **修理に関するお問い合わせ**
- | |
|--|
| <p>ヤマハ修理ご相談センター</p> <p> 0570-012-808</p> <p><small>※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。</small></p> <p>上記番号でつながらない場合は 053-460-4830
FAX 03-5762-2125 東京都(北苑/東芝/甲斐県/東海)
06-6649-9340 西日本(北苑/近畿/四国/中国/九州/沖縄)</p> |
|--|

- 修理品お持込み窓口**
東日本サービスセンター
〒143-0006 東京都大田区平和島 2丁目1-1
京浜トラックセンタービル 14号棟 A-5F
FAX 03-5762-2125
- 西日本サービスセンター
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17
チリ(日本ユニシティビル)7F
FAX 06-6649-9340

受付時間
月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

- **販売元**
(株)ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12 KDX箱崎ビル1F
- * 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などは変更になる場合があります。

ASCAMPAMPPCCA10

- ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト**
<http://www.yamaha.com/proaudio/>
- ヤマハダウンロード**
<http://download.yamaha.com/>

Manual Development Department
©2015 Yamaha Corporation
2017年12月 改訂 MW-W-GO